

# ひふみのあゆみ



## ひふみらいと 追加型投信/内外/資産複合 2024年5月度 月次ご報告書

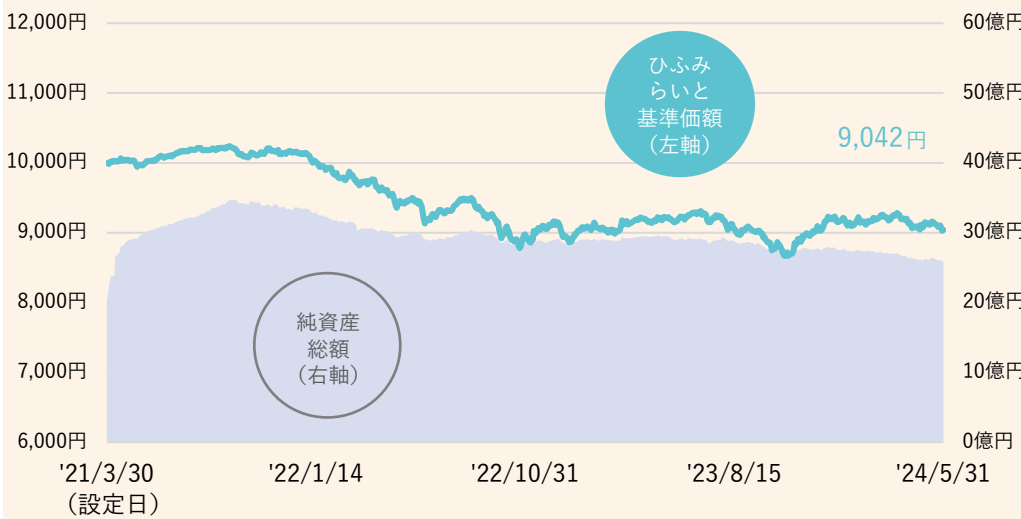
レオス・キャピタルワークスよりお客様へ  
資産形成のパートナーに「ひふみらいと」をお選びいただき、ありがとうございます。  
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



作成基準日：2024年5月31日

### 運用実績

#### 基準価額等の推移（日次）



※基準価額は1万口あたりです。また信託報酬控除後の値です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「運用成績」の「設定来」は、設定時の価額（10,000円）を起点として算出しております。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

\*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は基準価額変動額（月次）と合わない場合があります。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

※「ひふみらいと」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に債券や株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみグローバル債券マザーファンド」90%、「ひふみ投信マザーファンド」5%、「ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）」5%を維持することを目指して運用を行なっています。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用実績」をご覧ください。

### 運用成績

|        | 1ヵ月    | 3ヵ月    | 6ヵ月   | 1年     | 3年     | 設定来    |
|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|
| ひふみらいと | -0.78% | -1.59% | 0.23% | -1.69% | -9.86% | -9.58% |

### ひふみらいとの運用状況

|        |                |
|--------|----------------|
| 基準価額   | 9,042円         |
| 純資産総額  | 25.90億円        |
| 受益権総口数 | 2,864,897,504口 |

### ひふみらいと 投資信託財産の構成

|                   |         |
|-------------------|---------|
| ひふみグローバル債券マザーファンド | 89.89%  |
| ひふみ投信マザーファンド      | 4.97%   |
| ひふみワールドファンド*      | 4.97%   |
| 現金等               | 0.17%   |
| 合計                | 100.00% |

### 分配の推移（1万口当たり、税引前）

|       |         |    |
|-------|---------|----|
| 第3期   | 2024年4月 | 0円 |
| 第2期   | 2023年4月 | 0円 |
| 第1期   | 2022年4月 | 0円 |
| -     | -       | -  |
| -     | -       | -  |
| -     | -       | -  |
| 設定来合計 |         | 0円 |

### 基準価額の変動要因

|                     |      |
|---------------------|------|
| 基準価額変動額（月次）         | -71円 |
| 〔組み入れファンド別変動要因内訳〕   |      |
| ひふみグローバル債券マザーファンド   | -84円 |
| ひふみ投信マザーファンド        | +4円  |
| ひふみワールドファンド*        | +13円 |
| 信託報酬・その他            | -4円  |
| 〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕 |      |
| 債券                  | -84円 |
| 株式・投資証券             | +16円 |
| 為替                  | -17円 |
| 信託報酬・その他            | +14円 |

## ひふみグローバル債券マザーファンド 運用状況

| ひふみグローバル債券マザーファンドの状況 |          |
|----------------------|----------|
| 純資産総額                | 172.52億円 |
| 組み入れ銘柄数              | 29銘柄     |

| 種別比率      |         |
|-----------|---------|
| 国債        | 64.75%  |
| 社債        | 18.47%  |
| 住宅ローン担保証券 | 7.19%   |
| 地方債       | 2.84%   |
| 特殊債       | 2.01%   |
| 国際機関債     | 1.72%   |
| 債券先物取引    | -21.55% |
| 現金等       | 24.57%  |
| 合計        | 100.00% |

| 為替ヘッジ比率 |        |
|---------|--------|
|         | 94.33% |

| 組み入れ上位5通貨 比率 |        |
|--------------|--------|
| 1 米ドル        | 39.65% |
| 2 日本円        | 28.02% |
| 3 ユーロ        | 23.63% |
| 4 オーストラリア・ドル | 2.84%  |
| 5 中国元        | 2.01%  |

| ポートフォリオ特性値 |       |
|------------|-------|
| 最終利回り      | 3.66% |
| デュレーション    | 7.5   |

| 格付比率 |        |
|------|--------|
| AAA  | 27.67% |
| AA   | 5.53%  |
| A    | 53.74% |
| BBB  | 10.04% |
| BB以下 | -      |

| 資産別比率  |         |
|--------|---------|
| 海外債券   | 68.97%  |
| 国内債券   | 28.02%  |
| 債券先物取引 | -21.55% |
| 現金等    | 24.57%  |
| 合計     | 100.00% |

| 組み入れ上位5カ国 比率 |        |
|--------------|--------|
| 1 日本         | 31.88% |
| 2 アメリカ       | 31.59% |
| 3 スペイン       | 11.66% |
| 4 イタリア       | 9.19%  |
| 5 オーストラリア    | 2.84%  |

| 組み入れ上位10銘柄 比率     |           |      |     |            |        |  |
|-------------------|-----------|------|-----|------------|--------|--|
| 銘柄名               | 種類        | 国    | 通貨  | 償還日        | 組入比率   |  |
| 1 日本国債 (30年)      | 国債        | 日本   | 日本円 | 2052/12/20 | 10.27% |  |
| 2 スペイン国債          | 国債        | スペイン | ユーロ | 2033/4/30  | 9.73%  |  |
| 3 イタリア国債          | 国債        | イタリア | ユーロ | 2033/11/1  | 9.19%  |  |
| 4 米国国債            | 国債        | アメリカ | 米ドル | 2041/2/15  | 8.52%  |  |
| 5 米国住宅ローン担保証券     | 住宅ローン担保証券 | アメリカ | 米ドル | 2053/6/20  | 7.19%  |  |
| 6 日本国債 (40年)      | 国債        | 日本   | 日本円 | 2063/3/20  | 6.72%  |  |
| 7 三井住友フィナンシャルグループ | 社債        | 日本   | 米ドル | 2027/1/14  | 5.47%  |  |
| 8 日本国債 (20年)      | 国債        | 日本   | 日本円 | 2042/12/20 | 4.91%  |  |
| 9 米国国債            | 国債        | アメリカ | 米ドル | 2041/8/15  | 4.12%  |  |
| 10 米国国債           | 国債        | アメリカ | 米ドル | 2043/5/15  | 3.22%  |  |

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「ポートフォリオ特性値」は、ファンドの組入債券等（現金等を含む）の各特性値（最終利回り、デュレーション）を、その組入比率で加重平均したものです。なお、債券先物を含めて計算しています。  
（Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス株式会社作成）  
最終利回りは、ファンドが投資している債券等の特性を示すために各債券の利回りから算出したものであり、ファンドの運用成果を示唆、保証するものではありません。  
デュレーションは、金利の変動による債券価格の感応度を表しています。値が大きいくほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※各比率は、ひふみグローバル債券マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「種別比率」「資産別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。なお、ヘッジ目的で先物取引を利用する場合があります。

※格付は、ムーディーズおよびS&Pの格付のうち高いものを採用し、S&Pの格付形式で表示しています。

※「組み入れ上位5カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。また、国際機関等特定の国に分類しない場合があります。

※「格付比率」「組み入れ上位5通貨比率」「組み入れ上位5カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」は、現物資産について表示しております。

※「為替ヘッジ比率」は、純資産総額に対する為替予約評価額と円貨資産額の合計の比率です。売買等の計上タイミングや市況動向により比率が100%を超える場合があります。

## ひふみ投信マザーファンド 運用状況

| ひふみ投信マザーファンドの状況 |            |
|-----------------|------------|
| 純資産総額           | 8,676.63億円 |
| 組み入れ銘柄数         | 187銘柄      |
| 資産配分比率          |            |
| 国内株式            | 90.26%     |
| 海外株式            | 7.01%      |
| 海外投資証券          | 0.14%      |
| 現金等             | 2.59%      |
| 合計              | 100.00%    |
| 市場別比率           |            |
| プライム市場          | 88.15%     |
| スタンダード市場        | 1.49%      |
| グロース市場          | 0.62%      |
| その他海外株          | 7.14%      |
| 現金等             | 2.59%      |
| 合計              | 100.00%    |

| 組み入れ上位10業種 比率 |        |
|---------------|--------|
| 1 電気機器        | 10.56% |
| 2 機械          | 8.81%  |
| 3 情報・通信業      | 7.54%  |
| 4 サービス業       | 6.78%  |
| 5 小売業         | 6.65%  |
| 6 輸送用機器       | 6.05%  |
| 7 銀行業         | 6.00%  |
| 8 建設業         | 4.93%  |
| 9 化学          | 3.45%  |
| 10 不動産業       | 3.16%  |

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、ひふみ投信マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」「市場別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。「海外投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

※「組み入れ上位10業種比率」は国内株式における上位業種を表示しています。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、東証33業種分類を用いて表示しています。なお、海外株式、海外投資証券については「その他海外株」として表示しています。

※「組み入れ上位10銘柄比率」の規模は、基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。

大型(3,000億円以上)

中小型(300億円以上、3,000億円未満)

超小型(300億円未満)

| 組み入れ上位10銘柄 比率 |                  |       |     |        |        |       |
|---------------|------------------|-------|-----|--------|--------|-------|
|               | 銘柄名              | 銘柄コード | 規模  | 上場市場   | 業種     | 組入比率  |
| 1             | トヨタ自動車           | 7203  | 大型  | プライム市場 | 輸送用機器  | 4.51% |
| 2             | 三井住友フィナンシャルグループ  | 8316  | 大型  | プライム市場 | 銀行業    | 2.04% |
| 3             | 三越伊勢丹ホールディングス    | 3099  | 大型  | プライム市場 | 小売業    | 1.99% |
| 4             | DMG森精機           | 6141  | 大型  | プライム市場 | 機械     | 1.70% |
| 5             | 第一生命ホールディングス     | 8750  | 大型  | プライム市場 | 保険業    | 1.70% |
| 6             | M & A 総研ホールディングス | 9552  | 中小型 | プライム市場 | サービス業  | 1.60% |
| 7             | ダイキン工業           | 6367  | 大型  | プライム市場 | 機械     | 1.59% |
| 8             | 味の素              | 2802  | 大型  | プライム市場 | 食料品    | 1.49% |
| 9             | QUALCOMM INC     | QCOM  | 大型  | NASDAQ | その他海外株 | 1.48% |
| 10            | ソフトバンクグループ       | 9984  | 大型  | プライム市場 | 情報・通信業 | 1.46% |

## ひふみワールドファンド\* 運用状況

|       |          |                |         |
|-------|----------|----------------|---------|
| 純資産総額 | 167.24億円 | 投資信託財産の構成      |         |
|       |          | ひふみワールドマザーファンド | 100.32% |
|       |          | 現金等            | -0.32%  |
|       |          | 合計             | 100.00% |

\*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

※現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「資産配分比率」の株式には、新株予約権を含む場合があります。海外投資証券はREIT（不動産投資信託）等です。

※「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の国は、原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、株式における上位業種を表示し、原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。

## ひふみワールドマザーファンド 運用状況

|                   |            |               |        |
|-------------------|------------|---------------|--------|
| ひふみワールドマザーファンドの状況 |            | 組み入れ上位10カ国 比率 |        |
| 純資産総額             | 3,163.46億円 | 1 アメリカ        | 66.18% |
| 組み入れ銘柄数           | 129銘柄      | 2 イギリス        | 5.63%  |
| 資産配分比率            |            | 3 ドイツ         | 4.50%  |
| 海外株式              | 93.82%     | 4 イタリア        | 2.83%  |
| -                 | -          | 5 フランス        | 2.81%  |
| 現金等               | 6.18%      | 6 スイス         | 2.71%  |
| 合計                | 100.00%    | 7 デンマーク       | 2.01%  |
|                   |            | 8 スウェーデン      | 1.94%  |
|                   |            | 9 カナダ         | 1.06%  |
|                   |            | 10 中国         | 0.98%  |

|                          |        |               |        |
|--------------------------|--------|---------------|--------|
| 組み入れ上位10業種 比率            |        | 組み入れ上位10通貨 比率 |        |
| 1 資本財                    | 18.97% | 1 米ドル         | 75.57% |
| 2 半導体・半導体製造装置            | 10.53% | 2 ユーロ         | 8.55%  |
| 3 ソフトウェア・サービス            | 7.57%  | 3 イギリス・ポンド    | 2.81%  |
| 4 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 6.25%  | 4 スイス・フラン     | 2.08%  |
| 5 メディア・娯楽                | 5.64%  | 5 デンマーク・クローネ  | 2.01%  |
| 6 金融サービス                 | 5.10%  | 6 香港ドル        | 0.98%  |
| 7 エネルギー                  | 4.89%  | 7 スウェーデン・クローナ | 0.94%  |
| 8 一般消費財・サービス流通・小売り       | 4.17%  | 8 ノルウェー・クローネ  | 0.47%  |
| 9 テクノロジー・ハードウェアおよび機器     | 4.06%  | 9 台湾ドル        | 0.41%  |
| 10 自動車・自動車部品             | 4.04%  | 10 フィリピン・ペソ   | 0.00%  |

| 組み入れ上位10銘柄 比率             |       |            |                        |       |
|---------------------------|-------|------------|------------------------|-------|
| 銘柄名                       | 国     | 通貨         | 業種                     | 組入比率  |
| 1 MICROSOFT CORPORATION   | アメリカ  | 米ドル        | ソフトウェア・サービス            | 2.90% |
| 2 ARM HOLDINGS PLC        | イギリス  | 米ドル        | 半導体・半導体製造装置            | 2.60% |
| 3 AMAZON.COM, INC         | アメリカ  | 米ドル        | 一般消費財・サービス流通・小売り       | 2.39% |
| 4 FERRARI NV              | イタリア  | 米ドル        | 自動車・自動車部品              | 2.04% |
| 5 NOVO NORDISK AS         | デンマーク | デンマーク・クローネ | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 2.01% |
| 6 MTU AERO ENGINES AG     | ドイツ   | ユーロ        | 資本財                    | 2.01% |
| 7 CROCS INC               | アメリカ  | 米ドル        | 耐久消費財・アパレル             | 1.86% |
| 8 EMERSON ELECTRIC CO     | アメリカ  | 米ドル        | 資本財                    | 1.85% |
| 9 MOTOROLA SOLUTIONS, INC | アメリカ  | 米ドル        | テクノロジー・ハードウェアおよび機器     | 1.81% |
| 10 NVIDIA CORPORATION     | アメリカ  | 米ドル        | 半導体・半導体製造装置            | 1.59% |

ひふみグローバル債券マザーファンド 基準価額の推移（日次）



|                        |        |        |        |        |         |           |
|------------------------|--------|--------|--------|--------|---------|-----------|
| ひふみグローバル債券マザーファンド 運用成績 | 1ヵ月    | 3ヵ月    | 6ヵ月    | 1年     | 3年      | ひふみらいと設定来 |
|                        | -1.02% | -2.25% | -1.53% | -4.33% | -12.89% | -12.57%   |

※「ひふみらいと」が直接または間接的に投資している各投資信託証券の基準価額の推移と運用成績を、「ひふみらいと」の当初設定日の前営業日（2021年3月29日）を10,000として指数化して作成、算出しております。

※運用成績は小数点第三位を四捨五入して表示しています。「ひふみらいと設定来」は、「ひふみらいと」の設定日の前営業日（2021年3月29日）（「ひふみグローバル債券マザーファンド」は当初設定時）を起点として算出しております。

※「ひふみらいと」の投資対象ファンドの一つである「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」は、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。ここでは、「ひふみワールドマザーファンド」の基準価額の推移と運用成績を記載しております。

ひふみ投信マザーファンド 基準価額の推移（日次）



|                   |       |       |        |        |        |           |
|-------------------|-------|-------|--------|--------|--------|-----------|
| ひふみ投信マザーファンド 運用成績 | 1ヵ月   | 3ヵ月   | 6ヵ月    | 1年     | 3年     | ひふみらいと設定来 |
|                   | 0.90% | 2.20% | 15.10% | 26.78% | 26.27% | 21.68%    |

ひふみワールドマザーファンド 基準価額の推移（日次）



|                     |       |       |        |        |        |           |
|---------------------|-------|-------|--------|--------|--------|-----------|
| ひふみワールドマザーファンド 運用成績 | 1ヵ月   | 3ヵ月   | 6ヵ月    | 1年     | 3年     | ひふみらいと設定来 |
|                     | 2.82% | 9.53% | 26.13% | 37.38% | 55.10% | 64.74%    |

当ファンドに組み入れている3つのファンドのうち「ひふみ投信マザーファンド」「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」は上昇したものの、「ひふみグローバル債券マザーファンド」が下落したため、基準価額は前月末から0.78%下落しました。

#### 【ひふみ投信マザーファンド】

5月の日本株は一進一退の動きとなりましたが、当ファンドの基準価額は0.90%上昇して終えました。米利下げ観測のアップダウンや、決算シーズンにおける2024年度ガイダンスの慎重さはややネガティブでした。他方、円金利の先高観を背景にした金融株や、原発再稼働の思惑を背景にした電力株などが相場を牽引しました。

#### 【ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）】

5月の米国株は2ヵ月ぶりに上昇し、当ファンドの基準価額は2.83%上昇しました。山場とされたエヌビディアの決算・業績見通しは市場予想を上回りました。米利下げ期待が再燃する場面もあり、ハイテク株では最高値を更新する銘柄もありました。また景気が最悪期を脱し、かつ米国に先んじて利下げの可能性が高まる欧州株も堅調なパフォーマンスでした。

#### 【ひふみグローバル債券マザーファンド】

5月の債券市場では、長期金利が日本では上昇、米国では低下、欧州では上昇とまちまちな動きとなり、当ファンドの基準価額は1.02%下落しました。米国ではインフレ沈静化が統計データから示唆されました。一方、日本では日銀の国債買入れ減額のサプライズがあって金利には上昇圧力がかかり、欧州では2回目以降の利下げパスは緩やかとの見方や景気指標の好転が金利を小幅に押し上げました。

引き続き、株式・債券チーム一丸となって全力で運用に努めてまいります。

(6月4日)



ひふみらいと  
ファンドマネージャー  
橋本 裕一

※TOPIXは、全てTOPIX（配当込み）を用いています。TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXは、株式会社J P X総研が算出、公表する株価指数です。日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。

※TOPIX等の指数値およびTOPIX等に係る標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX等に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIX等に係る標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIX等の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、J P Xにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

日本国債10年金利は上昇しました。日銀による国債買入が想定外のタイミングで減額されたこと、超長期債への需要が不足していること、内田副総裁ら政策委員がさらなる利上げに前向きになっていることなどが理由です。一方で、政府サイドからは日銀の引き締めに強い抵抗があるとされており、市場が織り込む年末時点でのオーバーナイト金利は0.35%程度にとどまりました。ただし、実際に利上げペースがゆっくりとしたものになる場合、円安に歯止めがかかりにくい点がリスクになるでしょう。いずれにしても日本サイドの対応によって円高にトレンド転換する可能性は低いと考えています。

米金利は小幅に低下しました。インフレデータはやや沈静化したものの、利下げを開始するには同様なデータがもう数ヵ月分必要とされ、様子見姿勢が強まっています。月後半の一連の入札が想定外に弱く、需給はやや悪化していると見られますが、当局の長期債発行量を抑える方針に変化がない限り大きな懸念材料にはならないと考えています。

欧州債金利は小幅に上昇しました。6月からの利下げが織り込まれているものの、その後の利上げペースは速まらないとの見方が優勢です。

外債のヘッジコストは日銀のマイナス金利解除以降やや低下したものの、依然として収益の圧迫要因となりました。

全力で運用してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

(5月31日)



ひふみグローバル債券  
マザーファンド  
ファンドマネージャー  
福室 光生

### 債券ってなに？～債券の基礎知識～【YouTube】

ひふみらいとがひふみグローバル債券マザーファンドを通じて投資している「債券」について、いまさら聞けない基礎知識を約10分で解説する動画をYouTubeの公式チャンネルにて好評配信中です。

専門用語をできるだけ使わずに、当社社員が分かりやすくお伝えしております。

ぜひご視聴いただき、債券運用への理解の一助としていただければ幸いです。



レオス・キャピタルワークス  
【投資信託「ひふみ」公式】YouTubeチャンネル  
登録者数2万人突破！  
チャンネル登録をお願いします！

5月の日本の株式市場は、米国株の堅調な動きが日本株を支えましたが、米国の利下げ動向への懸念や日本の長期金利の上昇が相場の重荷となりました。日経平均株価は前月末比+0.2%（38,487.90円）、TOPIX（配当込み）は+1.16%と小幅上昇した相場でした。ひふみ投信マザーファンドは+0.90%の結果でした。特に米国ハイテク株の動向が市場に大きな影響を与えました。前半はグロース株が強かったものの、後半はバリュー株が優勢でした。また、業種別では保険業や電力株、銀行株が上昇する一方、不動産業や輸送用機器などが下落しました。

5月は日本企業の本決算発表が集中します。全体的な印象は大型株はそこそこ、中小型株は比較的好調に転換し始めたように受け止めています。しかし、市場での評価は引き続き大型株が優位の状態が続いている様子です。海外投資家の注目は、流動性が高く、英語でも情報開示をしている大型株中心になるためです。しかし、中小型株もTOPIX小型バリュー指数は5月は1.44%と上昇をしています。実際、調査活動の中でも開示姿勢が改善される中小上場企業が見られるようになってきており、東証の政策が機能し始めています。それらは随時ポートフォリオへ追加しております。

流転する市場に私たちもしっかりと対応し、中長期目線でよい銘柄を多数発掘するよう日々全力で邁進いたします。引き続きどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(6月4日)



ひふみ投信マザーファンド  
ファンドマネージャー  
藤野 英人

※日経平均株価に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。

※各指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。



5月の米国株式市場は上昇しました。5月前半は雇用統計が予想を下回ったほか、物価上昇の減速が示され、利下げ期待が高まったことから、4月の下落から反騰し、大きく上昇しました。しかしながら、5月の後半は高値警戒感から利益確定売りに押されたほか、一部消費銘柄の決算が失望的であったことから上値が重くなりました。下旬に発表されたエヌビディアの決算は堅調で株価は上昇したものの、それ以外の多くの銘柄の下落圧力は強く、相場全体を再度押し上げるには至りませんでした。

米国株式市場の相対的な堅調さはよく知られるところですが、もちろん他の市場のすべてがダメというわけではなく、フランス株式市場などは良好なパフォーマンスを示している数少ない市場のひとつです。フランス株式市場の堅調さは幅広いセクターの堅調さに裏打ちされていますが、その中のひとつがラグジュアリーセクターです。LVMHやエルメスなどは長期的に市場全体を上回る株価上昇率を示しています。しかし、ラグジュアリーセクターの銘柄の株価推移は最近まちまちになってきています。

最大の要因は中国の低迷です。経済成長率の低迷の他に、中国でのラグジュアリー消費をさらに下押しする中国固有の要因があります。贅沢消費やそれを見せびらかすような行為への政治的な圧力の高まりです。ラグジュアリー消費は高所得者により行なわれ、彼らの景気への耐性は低～中所得者よりも高いことからラグジュアリー消費は世界的にはディフェンシブであるという見方もありますが、中国では成立していません。中国の高所得者はお金はあっても、それを贅沢品に回すことが許されない雰囲気にあると言われています。また、ラグジュアリー市場の成長は若年層の参入が不可欠ですが、中国の若年層は高い失業率と就職難という問題を抱えており、ラグジュアリー産業は中国での新たな顧客の拡大で困難な状況に直面しています。これを背景に中国が過去の成長の牽引役だった一部のブランドは厳しい業績、株価推移に直面しています。

その他の要因は米国の低迷です。意外に思われるかもしれませんが、ラグジュアリーに限って言えば米国の状況は決して芳しいものではありません。米国の雇用は堅調に見えて、正社員の雇用は弱く、パートタイム雇用が下支え要因となっており、特に高所得を誇るテクノロジー産業での厳しい雇用環境がラグジュアリー消費にマイナスの影響を与えているひとつの要因と言えるでしょう。

一方、厳しさを増すラグジュアリー業界で堅調さを維持する数少ない市場が、意外に思われるかもしれませんが日本なのです。円安や外国人観光客の増加ももちろんひとつの要因ですが、それ以上に日本人の高額所得者の消費が高い水準で堅調さを維持できていることが、ラグジュアリー業界のサポート要因となっています。中国の回復は厳しいと言わざるを得ませんが、米国の回復まで日本の堅調さを維持できるかどうか、今後のラグジュアリーセクターのパフォーマンスの鍵となると思われます。

今後も全力を尽くして運用してまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。

(6月4日)



ひふみワールドマザーファンド  
ファンドマネージャー  
湯浅 光裕

※各指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。



## 市場動かす重要イベント集中

## 欧米物価・賃金の沈静化、ECB利下げへ

6月前半は債券、株式、為替市場などを動かす重要イベントが集中します。特に主要国の金融政策決定会合が要注目です。ユーロ圏ではECB理事会(6月6日)で利下げが濃厚です。3月にスイス、5月にスウェーデンが利下げを行ないましたのでユーロ圏が続くと、利上げ局面が完全に終了し、利下げ局面入りが明確になります。ラガルドECB総裁など高官が、今後の金融政策にどのようなスタンスで臨むのか、ハト派的ならば債券高(金利低下)や株高に加えて、これまでのユーロ高の流れに歯止めがかかる、場合によれば大きな転換点になる可能性があります。

米国はFOMC(6月11~12日)で金利据え置きとみられますが、政策金利見通しで前回3月の「年内3回の利下げ見通し(中央値)」がどの程度縮減されるのか注目されます。景気や物価の堅調・上ブレなどを受けて、既に市場見通しは年内1.5回程度の利下げに縮小されていますので、新たなFOMCの見通しに対して織り込みがかなり進んでいると推察されます。雇用や物価統計は1~3月期分は上ブレ傾向となりましたが、4月分以降、落ち着いてきました。労働需給や賃金、物価の減速傾向が明確化するようだと、市場の「利下げ後ズレ観測」に歯止めがかかると思いますし、株式や債券市場にとってポジティブ材料になりそうです。

一方、日銀はデフレ脱却、経済の正常化から3月に利上げを行ない、超緩和策の修正(利上げ)を段階的に進めるスタンスですが、景気足踏みなどを受けて、6月13~14日の金融政策決定会合では金利据え置きが濃厚です。なお、為替の円安進展を警戒する岸田政権は4月29日、5月2日に円買い・ドル売りの為替介入を行なったとみられますが、日銀も円安牽制も視野にした資産買入の圧縮(減額)に動く可能性がありそうです。国内景気は自動車不正問題や能登半島地震の影響(特殊要因)から1~3月期に実質GDP成長率が落ち込み、GDPギャップ(内閣府推計)が-1.1%となりましたが、4~6月期以降、賃上げ(春闘で大幅賃上げ妥結)や減税効果などから大幅好転観測です。実際に景気好転となれば、日銀は年下期に利上げしそうですが、再び大手自動車5社の認証不正問題が発覚し、その影響次第で日銀の金融政策にも影響が出てきそうです。裾野が広く、経済波及効果が大きい自動車業界の生産動向がどうなるのか要注目です。

世界の株式市場は業績拡大を原動力に日米欧など主要先進国が堅調展開です。実体経済面では世界的なAIブームと半導体景気の拡大、設備投資をはじめとする企業活動の活発化、新商品やサービスの勃興などが予想され、堅調さが増しそうです(失速リスクは低いとみられます)。そのため、欧米など高金利国の利下げは過剰利上げの修正との意味合いが強く、急激かつ大幅な利下げの可能性は低そうです。一方、日本株は、大勢的には賃金の上昇を伴う形で「経済の好循環」が回る形で景気回復を予想しますが、加えて日本取引所グループや金融庁から企業の資本効率改善、企業統治改革に関する要請が強くなり、経営変革が一段と進むとみられます。日本株はマクロ環境改善とミクロ変革の両輪揃う形で広角度の物色人気になりそうです。

## 運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。  
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

### 今月のトピック

今年は5月から夏日が連続し、6~8月も厳しい暑さが予想されています。  
この暑さが、人々の消費行動や市場にどのような影響を与えると思いますか？



Fujino Hideto  
藤野 英人  
代表取締役社長  
最高投資責任者

リゾートといえば南の島というイメージだったけど、いまは暑すぎてリゾートは涼しくて雪のあるところが人気になっています。これからますますそうでしょう。



Yuasa Mitsuhiro  
湯浅 光裕  
代表取締役副社長

20年ほど前からゲリラ豪雨の影響が出始めてから季節も春夏秋冬であったり、春夏夏冬になったりとバラエティ豊かになった気がします。変化を楽しめる人は比較的楽でしょうが、そうでない人は調整が難しそうです。



Sasaki Yasuto  
佐々木 靖人  
運用本部長  
シニア・ファンドマネージャー

気象庁は「エルニーニョ現象が終息して平常の状態になる可能性が高い(90%)。秋にかけて平常の状態が続く可能性もあるが(40%)、ラニーニャ現象が発生する可能性の方がより高い(60%)」との予報。酷暑が猛暑くらいに落ち着くかもしれません。サービス業が潤って欲しいです。



Senoh Masanao  
妹尾 昌直  
運用副本部長  
株式戦略部長  
シニア・アナリスト

消費行動はプラスにもマイナスにもありそうですが、暑いと仕事の生産性が落ちてしまうのでなるべく冷房のきいた部屋で過ごしたいと思います。そういう意味においては消費行動としては生産性維持のための電力消費は確実に増えそうな印象です。



Takahashi Ryo  
高橋 亮  
シニア・アナリスト  
シニア・ファンドマネージャー

こうも暑いと外出する気をなくしませんか？ 私はなくします。10月まで可能な限り在宅勤務にし、家にこもる生活になると思いますが、消費にはろくな影響はないと思います。



Naito Makoto  
内藤 誠  
シニア・アナリスト  
ファンドマネージャー

コロナ禍を経て、健康意識の高まりは年々増加しているように感じます。その中で猛暑・残暑の期間が長くなることが予想されるので、ゼリー飲料やスポーツ飲料の需要増に注目しています。

## 運用メンバーからのメッセージ



Zhou Huan  
周 歆  
シニア・アナリスト

中国やインドのような新興国では夏の暑さがエアコンの販売台数に大きな影響を与えます。エアコンの普及率はまだそれほど高くないことから、更新が多い先進国と違ってブレが大きい新規需要は市場を左右する形になります。従って、猛暑になるほどエアコン企業の業績にはポジティブに寄与すると思います。



Kubo Tomohiko  
久保 智彦  
シニア・アナリスト

猛暑に加えて、豪雨による洪水や日照りによる山火事などの天災で、サプライチェーンの寸断や不作による食料価格の高騰となった場合には、インフレ再燃リスクが懸念されます。が、そんなのお構いなしの子供たちに外に引っ張り出されて、個人的には冷たい飲み物の消費が増えそうです。



Ohara Kenji  
大原 健司  
シニア・アナリスト

酷暑になると外出を控えるし、今年は光熱費負担もより重くなるので消費にはマイナスなんでしょうね。アイスは値上げが続いていますけど、値上げ（受け入れ）余地ってまだありそうですよね。



Matsumoto Ryoga  
松本 凌佳  
アナリスト  
ファンドマネージャー

一定の温度まではアイスクリームの需要が高まりますが、あまりにも暑くなると、アイスクリームの需要は減少し、かき氷の需要が高まるそうです。あとは、レジャー需要の減退でしょうか。あまりに暑いと海水浴や山登りよりも冷房の効いたショッピングモールに行きたくなりそうです。



Ito Tsubasa  
伊藤 翼  
アナリスト

例えば一部の製造業では、昨今の温暖化の影響で工場内の気温が上がりすぎて人の採用が困難となっているようで、工場内の空調設備への投資などに注力しています。気温の上昇や少子化など複合的な要因ではありますが、製造業の職場環境の改善は今後も進んでいくのではないのでしょうか。



Watanabe Shota  
渡邊 庄太  
小型株戦略室長  
シニア・アナリスト  
シニア・ファンドマネージャー

気温をはじめとする異常気象と24年問題の影響などから、建設現場などで工期遅れが頻発するかもしれません。DXをはじめとする省人化技術投資の必要性はますます高まるのではないのでしょうか。



Oshiro Shintaro  
大城 真太郎  
シニア・アナリスト  
ファンドマネージャー

（電気代高いし、危険な暑さが想定されるので）格安系ストアでアイス買って、自宅で冷房ぶん回しながらVOD（ビデオ・オン・デマンド）

## 運用メンバーからのメッセージ



Fukumuro Mitsuo  
福室 光生  
債券戦略部長  
シニア・ファンドマネージャー

債券や金利のマーケットでは、暑さが相場の材料として注目されることはあまりない印象です。個人的には天気図をよく見るのですが、地形とか海流によって意外に気温に差があることに気づかされます。



Hashimoto Yuichi  
橋本 裕一  
ファンドマネージャー  
兼マーケットエコノミスト

北国の需要や価値が高まる流れでしょうか。遠出するなら避暑地がよいですね。



Rahimian Behrad  
ラヒミアン ベーラド  
アナリスト  
ファンドマネージャー

株価指数の日次パフォーマンスと晴天に有意な正の相関を報告する研究（Hirshleifer and Shumway, 2003）がある一方で、フランスの証券市場を対象とした研究（Peillex et al., 2021）では最高気温が30°Cを超える日は出来高が約4~10%減少することを報告しています。投資家も人の子、空調があるとはいえ暑い日はへばっているようです。私も夏バテしないよう体調管理に気をつけたいですね。



Miyake Kazuhiro  
三宅 一弘  
運用本部  
経済調査室長

昨夏も猛暑でしたが、猛暑関連で注目されたのはエアコン、飲料業界、コンビニ、電力会社などだったと思います。今年も猛暑ならば関連するシーズンストックが注目されそうです。

### ひふみ公式LINEアカウント



「ひふみ」を運用するレオス・キャピタルワークスはお客様に向けてLINEでの情報提供を始めました。お客様と長期的な資産形成を一緒に行なっていくためにさまざまな情報をお届けします。

こちらから**LINEお友だち登録**をお願いします  
またはLINEにて「ひふみ」で検索

#### LINEでできること

- ✓ ひふみ口座へのログイン
- ✓ 記事コンテンツ、映像コンテンツの配信をお知らせ
- ✓ 当社イベント・セミナーのお知らせと申し込み
- ✓ メニュー画面からYouTube「お金のまなびば！」へ簡単アクセス
- ✓ 随時、ひふみからの記事や動画のお知らせも届きます！

## ひふみらいとの特色

「ひふみらいと」は、投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

- ① 投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。
- ② 原則として、株式に約10%、債券に約90%投資します。

## ひふみ投信の特色（ご参考）

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

## ひふみワールドの特色（ご参考）

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

### 投資リスク

#### ■ 基準価額の変動要因

- 投資信託証券への投資を通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預貯金等とは異なります。

#### ■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| 価格変動リスク                           | 国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。  |
| 流動性リスク                            | 有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。   |
| 信用リスク                             | 有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。 |
| 為替変動リスク                           | 外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。  |
| カントリーリスク<br>(エマージング市場<br>に関わるリスク) | 当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。           |

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

## お申込メモ

|                      | ひふみらいと   | ひふみ投信（ご参考）  | ひふみワールド（ご参考）  |
|----------------------|--|---|---|
| 商品分類                 | 追加型投信／内外／資産複合  | 追加型投信／内外／株式   | 追加型投信／海外／株式   |
| 当初設定日                | 2021年3月30日   | 2008年10月1日  | 2019年10月8日  |
| 信託期間                 | 無期限  |   |   |
| 決算日                  | 毎年4月15日(休業日の場合翌営業日)  | 毎年9月30日(休業日の場合翌営業日)                                 | 毎年2月15日(休業日の場合翌営業日)                                   |
| 収益の分配                | 決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。                                     |   |   |
| 購入単位                 | 1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。  |   |   |
| 購入価額                 | ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）   |   |   |
| 購入代金                 | 販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。   |   |   |
| 換金(解約)単位             | 1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。  |   |   |
| 換金価額                 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）  |   |   |
| 換金代金                 | 換金申込受付日から起算して6営業日目から支払われます。  | 換金申込受付日から起算して5営業日目から支払われます。                         |   |
| 購入・換金<br>申込受付<br>不可日 | ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。            | —   | ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。 |
| 申込締切時間               | 購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。   |   |   |
| 課税関係                 | 課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 |   |   |
|                      | NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象です。  | NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」および「つみたて投資枠（特定累積投資勘定）」の対象です。 | NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象です。                         |
|                      | 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。   |   |   |

## お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用：ありません。

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額 は一切ありません。なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

|                  | ひふみらいと   | ひふみ投信（ご参考）  | ひふみワールド（ご参考）                                  |
|------------------|--|---|---|
| 運用管理費用<br>(信託報酬) | ひふみらいと：信託財産の日々の純資産総額に対して年率 <b>0.55%（税込）</b> を乗じて得た額<br>投資対象とする投資信託証券(ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用))：純資産総額に対して年率 <b>0.0022%（税込）</b><br>実質的な負担※：純資産総額に対して年率 <b>0.5522%（税込）程度</b>   | 信託財産の日々の純資産総額に対して年率 <b>1.078%（税込）</b> を乗じて得た額   | 信託財産の日々の純資産総額に対して年率 <b>1.628%（税込）</b> を乗じて得た額 |
| 監査費用             | 信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産から支払われます。<br>※投資対象ファンドを基本の組入比率で按分した投資対象ファンドの運用管理費用（信託報酬）を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。この値は目安であり、各投資信託証券への投資比率の変更等により変動します。また、投資対象ファンドの変更等により今後変更となる場合があります。 |   |   |
| その他費用・<br>手数料    | 投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。   | 組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。 |   |
|                  | これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。   |   |   |

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行いません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。

## ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
受託会社：(ひふみらいと)三井住友信託銀行株式会社  
(ひふみ投信)三井住友信託銀行株式会社  
(ひふみワールド)三菱UFJ信託銀行株式会社  
販売会社：レオス・キャピタルワークス株式会社

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください

## 各ファンドについてのお問い合わせ先



レオス・キャピタルワークス株式会社  
コミュニケーション・センター  
電話：03-6266-0123 メール：cc@rheos.jp  
受付時間：営業日の9時～17時  
ウェブサイト：<https://www.rheos.jp/>